

【深川市役所】

・時代の変化とともに医療機関でもスマートフォンでのやりとり（決済サービス含め）が増えてきた。私自身、通信業に携わっているので、こうした環境に困っている高齢者のため、市と協力しながら高齢者が住みやすいまちづくりに貢献できないかと考えている。

⇒市でもデジタル関係に不慣れな方を対象とした各種教室を開催していますが、教室に興味を持たない方たちもおりますので、ぜひ協力をいただきたいと思います。

・深川のまちはシャッター通りになっており、日中食事をする場所も少なく、みんな不便さを感じている。高齢者の中には家にいるのが辛い方もいるので、そのシャッター通りの1カ所を借りて、私たち高齢者で人が集まれる土台を作り、次の世代の方にも活用してもらえようという取り組みを始められないかと考えている。

⇒外に出かけることは、健康維持や健康寿命を延ばす最大の要因だというふうにも聞いていますので、提言として受け止めながら、何かできることがあるか検討していきます。

・今年3月に第4期北海道がん対策推進計画が策定された。計画では、がんの罹患率・死亡率の減少を目指すとして、様々な課題に対する施策が盛り込まれている。がんによる死亡や治療などによる生活の質の低下を減らすためには、早期発見・早期治療が重要で、深川市もがん検診に取り組んでいるが、市民とがんの克服を目指すといった強い施策についても取り組んで頂きたい。

⇒重要な課題であると認識しておりますので、今後検討していきます。

・全国には特色ある図書館が多くあり、地産地消にこだわったカフェ併設の図書館や子どもたちがカーペットでごろごろしながら読書ができるスペースを設けた図書館などもあります。図書館を含む生きがい文化センターについても、例えばパトリアホールを滑り台として活用するなどして関係人口を増やせないものか。

⇒閉鎖しているパトリアホールを再開しようとする、改修に莫大な金額がかかるが、改修に対する国の補助はないため、こういった形で改修をしていくか検討を始めているため、合わせて施設の活用についても検討していきます。ただ、図書館としては非常に利用者数も多く、蔵書も全体で20万冊程ある図書館ですので、その活用については、指定管理者とも協議しながら運営していきます。

・タウンミーティングは有意義な場であるが、特定の方や年齢層が高くなる傾向にある。子育て中の方や仕事をしている若者、将来を担う中高校生など、幅広い年代の声を聴く機会も大事だと思うので、「まちづくり」や「将来への意見」といったテーマに絞って開催するなど検討して欲しい。

⇒テーマや世代を絞るなど、今後の開催方法について検討していきます。

・一已地区42町内会のうち9町内会が10戸以下であり、このままでは3、4年後には10くらいの町内会がなくなるという話もある。町内会は自治組織であるが、先頭に立っている人も高齢化している状態であるため、場合によっては市で町内会をなくするか、あるいは維持するとなれば何をするかなど検討してもらいたい。

⇒統合など、議論が進んでいる町内会には、助言等を含め、所管を通じてお話できればと思います。ただ、町内会では、広報ふかがわの配布や防犯灯の電気代の支払いなどを担っていただいておりますので、行政効率が上がっている面もあるため、その維持ができなくなること

は、市としても懸念すべきことなので、統廃合等について希望される町内会があれば、しっかりとサポートしていく考えです。

・各種団体の整理・統合をして欲しい。町内会も高齢化が進み人手が足りていない。
⇒今年度の始まりに各種団体の統廃合について検討するよう指示をしており、今後検討を進めていきます。

・深川市は5地区合併の市なので、担当職員制として各地域に職員を2～3人配置できないものか。担当職員がいれば相談しやすい。
⇒10数年前に一度そういった体制をとったことがあります。過去の経過を含め研究していきます。

・1年半後に留萌線が廃止になるが、北一已駅の駅舎は今度どうなるのか。
⇒北一已駅につきまして、地域のみなさんからは廃線後、線路それから駅舎を含めて、全て撤去してほしいという声をいただいているのが、今の状況であります。

・僕のような若者が中心に活動するボランティア団体が増えて欲しい。現在は学校が休みの日にボランティアで桜山公園にあるSLの車体を磨くなどしているが、こうした活動がイベントの1つになればと思っている。
⇒ボランティアに対して多方面で支援したいと考えており、その取り組みを市外へ発信することで、関係人口や交流人口の拡大にもつながればと考えています。

・友達と楽しく、スケートボードを練習する場所がないので、スケボーパークを作って欲しい。
⇒スケートボードなどのアーバンスポーツは非常に盛んになっており、そこまで広くない範囲の中で取り組みが出来ると聞いています。子どもの貴重な意見として、しっかりと受け止めます。

・孫を連れてよく遊びに出かけるが、その度にどこに行こうかと悩み、秩父別（ちっく）と妹背牛（カーリング、うらら）に連れていくことが多くなる。深川にもそういう遊べる場所を作って欲しい。高齢者はゲートボール場が数多くあるが、子どもが外で遊べる場所が少ない。
⇒子育て支援センターなど、小さな子どもが遊べる屋内施設はありますが「あそこに行けば大丈夫」といった場所がないというのはご指摘のとおりで、そういった部分がどのように実現可能なのかを研究することは重要であると認識しています。

・高校の魅力づくりについて、例えばまんが甲子園だとか、あとゲームのクラブ活動など、部活でもいいし、学科でもいいので、何か全国から注目されるものを今の中高生から聞いてつukれないものか。
⇒高校については最終的に北海道教育委員会の決定事項という部分もありますが、いただいた意見につきましては、今後の魅力ある高校づくりの中で参考にしたいと思います。